

報道関係者各位

2024年2月29日  
草加市立病院  
国立成育医療研究センター

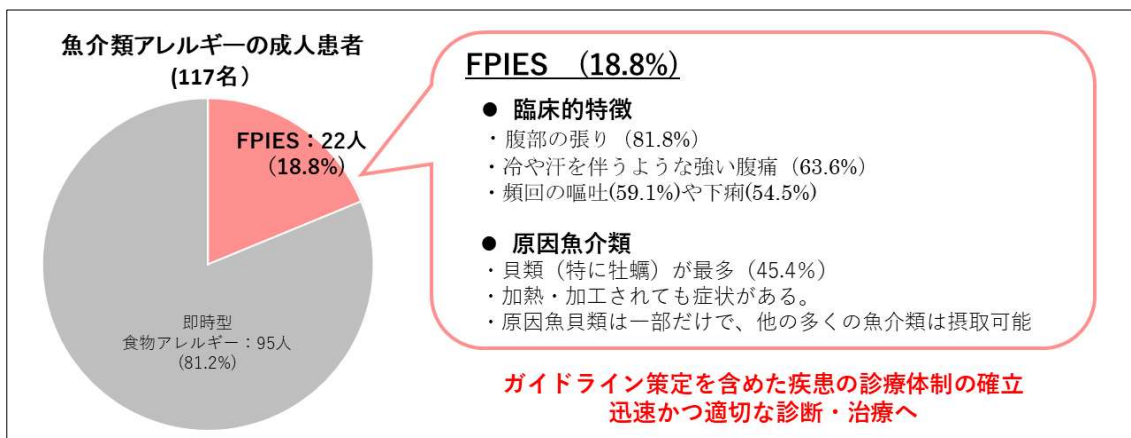
## 魚介類による成人食物蛋白誘発性胃腸炎の特徴的症状と原因食材を解明 ～今後の成人 FPIES の診療指針策定への第一歩～

草加市立病院（所在地：埼玉県草加市、病院長：矢内常人）消化器内科の渡辺翔医長、国立成育医療研究センター（所在地：東京都世田谷区大蔵、理事長：五十嵐隆）の好酸球性消化管疾患研究室の野村伊知郎室長らの研究グループは、魚介類アレルギーのあると申告した成人を対象に、食物蛋白誘発性胃腸炎（Food protein induced enterocolitis syndrome : FPIES（エフパイイス））の割合や臨床的特徴、魚介類の詳細な摂取状況について調査を行いました。

FPIES は胃腸炎症状（強い腹痛、吐き気、嘔吐、下痢）を引き起こしますが、食物に対する IgE 抗体検査（血液検査）は陰性となる消化管アレルギーです。一般の食物アレルギーと異なり皮膚や喉、呼吸の症状は起こさず、食後1時間以上経過してから胃腸炎症状が出るため、診断が難しいという特徴があります。

本調査では、魚介類アレルギーがあると申告した成人 117 名に対し、海外の研究報告を基にした成人 FPIES 診断基準を用いて電話調査を行いました。その結果、22 名（18.8%）が FPIES であると考えられました。これは、魚介類アレルギーがある成人の中に FPIES が潜在的に相当数存在することを示唆します。FPIES の原因魚介類で最多は貝類（45.4%：特に牡蠣）で、加熱・加工しても症状がでていました。

また、成人 FPIES の特徴的な症状として腹部の張り（81.8%）がありました。反復嘔吐を特徴とする小児 FPIES は近年報告数が増加していますが、本調査により成人 FPIES は反復嘔吐が少なく、腹部の張りや強い腹痛をはじめとした、重篤な腹部症状を来すことがわかりました。



【成人 FPIES（食物蛋白誘発性胃腸炎）の割合と臨床的特徴】

さらに、魚介類の摂取状況を調べたところ、多くの成人 FPIES の原因魚介類は一部だけであり、他の多くの魚介類は摂取可能でした。

本調査結果は、国際的な学術誌「Allergology International」誌に掲載され、今後の診断ガイドラインや救急医療における診断アルゴリズム策定に生かされることが期待されます。

### 【プレスリリースのポイント】

- 成人の魚介類アレルギーを申告した方の中に、FPIES が相当数存在（本調査では 117 名中 22 名、18.8%）することが分かりました。
- 日本の成人 FPIES の原因魚介類で最多は貝類（特に牡蠣：45.4%）であり、揚げ物などの加熱、オイスターソースなどへ加工されても、症状が出ていました。
- 特徴的な症状として腹部の張り（81.8%）があり、排出（嘔吐や排便）により楽になりたいと訴えていました。その他、腹痛（63.6%）、頻回の嘔吐（59.1%）や下痢（54.5%）などもありました。
- 成人 FPIES 患者は、原因魚介類以外の多くの魚介類を無症状で摂取可能でした。
- 本調査で得られた成人 FPIES の臨床的特徴は、今後成人における FPIES の診断ガイドライン作成や救急医療における診断アルゴリズム策定に役立つと期待されます。

### 【背景・目的】

FPIES は 皮膚の発疹や呼吸器症状といった典型的なアレルギー症状は起こらず、IgE 抗体検査も陰性となるアレルギー疾患で、小児での患者数増加が注目されています<sup>(1)</sup>。

海外では、成人 FPIES が潜在的に相当数存在すること、魚介類が原因として多いことが報告されています<sup>(1,2)</sup>が、食物アレルギーが疑われないため適切な診断を受けられないことが大きな問題となっています<sup>(2-8)</sup>。さらに成人 FPIES は小児で多い反復嘔吐が少なく、特徴的な腹部症状に関する知見が乏しいことも診断を困難にする要因の一つです。

そこで、成人 FPIES の有病率、特徴的な症状、魚介類の摂取状況を明らかにすることを目的に本調査を行いました。

### 【研究概要】

草加市立病院において魚介類アレルギーがあると申告した成人（117 名）を対象に、FPIES 診断基準や症状、魚介類摂取状況に関して電話インタビューを行いました。成人 FPIES 診断基準は、海外の研究報告<sup>(2,3)</sup>をベースに、一部小児 FPIES 国際ガイドラインの要素を加えて決定しました。

＜FPIES の診断基準＞

- 1：原因食材の摂取で腹部の症状のみ（吐き気、嘔吐、腹痛、下痢症状）誘発される
- 2：原因食材摂取後、1～6 時間経過してから症状が出現する
- 3：原因食材除去により症状は完全に消失する
- 4：原因食材の食材摂取により 2 回以上発作を経験している
- 5：以前、原因食材を無症状で摂取できていた

上記 5 条件を満たすものを成人 FPIES 例と定義しました。

**【今後の展望・発表者のコメント】**

成人 FPIES は、重症の胃腸炎症状を繰り返す上に診断までに長い時間がかかるため、医療体制の構築が急務です。本調査が明らかとした成人 FPIES の臨床的特徴は今後、成人 FPIES のガイドライン作成や救急医療における診断アルゴリズムの策定に非常に有用と考えています。

**【発表論文情報】**

英題：A Detailed Intake-status Profiling of Seafoods in Adult Food-Protein-Induced Enterocolitis Syndrome Patients

邦題：成人の食物蛋白質誘発性胃腸炎（FPIES）患者における魚介類の詳細な摂取状況解析

執筆者：

渡辺翔<sup>1,2</sup>、佐藤綾子<sup>3</sup>、宇賀美杉<sup>1</sup>、 枡川直樹<sup>1</sup>、 楠田理奈<sup>4</sup>、 鈴木啓子<sup>4</sup>、 永嶋早織<sup>4</sup>、 矢内常人<sup>1</sup>、 大矢幸弘<sup>2</sup>、 野村伊知郎<sup>2,4</sup>

所属：

- 1) 草加市立病院 消化器内科
- 2) 国立成育医療研究センター アレルギーセンター
- 3) 東京都立墨東病院 消化器内科
- 4) 国立成育医療研究センター 好酸球性消化管疾患研究室

掲載誌：Allergology International

DOI：10.1016/j.alit.2023.12.003

**【特記事項】**

本調査は、厚生労働省科学研究費補助金・希少難治性疾患克服研究事業（20FC1016）、JSA WAO2020 記念研究助成プログラム、公益財団法人 ひと・健康・未来研究財団の研究助成の補助によって行われました。

【参考文献】

- (1) Nowak-Wegrzyn A et.al. J Allergy Clin Immunol 2019; 144:1128-30.
- (2) González-Delgado P et.al. J Allergy Clin Immunol Pract 2022; 10:2397-403.
- (3) González-Delgado P et.al. J Allergy Clin Immunol Pract 2019; 7:670-2.
- (4) Tan JA et.al. J Allergy Clin Immunol Pract 2014; 2:355-7.e1.
- (5) Li DH et.al. Allergy Asthma Clin Immunol 2020; 16:99.
- (6) Du YJ et.al. Ann Allergy Asthma Immunol 2021; 127:291-2.
- (7) Du YJ et.al. Ann Allergy Asthma Immunol 2018; 121:736-8.
- (8) Sho Watanabe et.al. Ann Allergy Asthma Immunol 2023 Oct;131(4):487-493.e2.

【草加市立病院】

内科、循環器科、救急科、小児科など 27 の診療科を備える、埼玉県草加市にある総合病院です。「市民のいのちと健康を守り、地域医療の中核を担うことを使命とします」を基本理念とし、地域の中核を担う二次救急医療機関、災害拠点病院としての役割を果たしています。特に消化器内科では、成人（16 歳以上）の消化管アレルギー専門外来（完全予約制：金曜日 14～16 時）を開設しています。

（参考：草加市立病院 [成人消化管アレルギー専門外来（完全予約制）の開設について](https://www.soka-city-hospital.jp/PAGE000000000000076396.html)  
<https://www.soka-city-hospital.jp/PAGE000000000000076396.html>）。



【問い合わせ先】

草加市立病院 事務部 経営管理課  
電話：048-946-2200（代表） E-mail:soka-hosp2200@max.odn.ne.jp

国立成育医療研究センター 企画戦略局 広報企画室 村上  
電話：03-3416-0181（代表） E-mail:koho@ncchd.go.jp